

# 平成27年度第2回学校評価・運営協議会

日 時	平成28年1月29日（金）		場所	本校中会議室	
参 加 者	委員長		校長		
	委 員	学校評議員	2名		
		学校関係者評価委員	4名		
		保護者代表	1名（学校関係者評価委員1名を含む）		
		生徒代表	前期生徒会執行部員4名		
		学校代表	2名		
	幹 事		教頭		

## 1 校長挨拶

平成17年度より学校評価が始まり、生徒も学校評価に参加してほしいという意図でこの学校評価・運営協議会が発足した。ぜひ、生徒の視線から「こんな風にしたら学校が良くなる」と言う意見をいただきたい。

## 2 自己紹介

## 3 協議

### ○生徒会活動について

#### ・八頭高マスコットキャラクターの紹介

生徒：創立90周年を祝うため、平成26年度生徒応募し今年度決定したものを。

創立90周年式典にはキャラクターのポスターにて公表した。

委員：八頭郡にはイヌワシなど八頭郡ならではのものもある。

このマスコットキャラクター「ヤズポッポ」を全国へ発信するよう頑張ってもらいたい。

#### ・12月14・15日隠岐島前高校の視察について

学校代表：概要説明

生徒：地域間の結びつきが比べ物にならないほど違った。隠岐は鳥取より何もないのかなと思い、休日の過ごし方を聞くと、「市役所でお手伝い」と隠岐ではなく宮崎県出身の高校1年生から聞いた。地域間の結びつきの強さがわかった。

生徒：地域学と地域地球学の発表は、地元と密接に結び付き実践的な内容であった。今年度学習した探究ゼミはとても勉強になったが、地域とは結びつかない内容もあった。同じ高校生でここまで完成度の高いものが考えられるんだと感動した。

生徒：島前高校に進学する生徒は「自分が行きたいから進学する」という意思が強い。こちらは「行けるから行く」といった感じで、島前高校の生徒の積極性を感じた。

地域学の発表は素晴らしかった。八頭高の探究ゼミは、地域だけでなく色々な分野で研究できるところがいいと思った。

生徒：島前高校の良さを八頭高でどう生かすかは、難しい。

### ・ 1月22日八頭高ライフ体験について

委員：とても良かった。中学生も好印象であった。高校生が前面に出てやってくれて、距離の近さだけでなく、中学と高校の近さを実感できてよかった。

委員：出身中学生を前に各クラスで話した高校生の話がしっかりしていて大変良かった。

生徒：昨年度は準備に先生も加わってくださったが、今年度は全部執行部でやった。不安があったけど、いざ目の前に中学生がいると「しっかりしなきゃ。」という気持ちにさせられた。「自分は学校をひっぱっていく立場、高校生なんだ。」と改めて実感できた。

生徒：昨年より中学生の人数が増えて不安だったが、中学生はしっかりと団体行動ができていてとても助けられた。また、人前で話すことが苦手だったが、ライフ体験では話す体験ができて良かった。

生徒：鳥取市出身なので、中学2年生のうちから高校を知る機会はなかった。ライフ体験のように中3の体験入学の前に高校の話が聞けたり、先輩の話が聞けたり、高校に興味を持てるのがいいと思う。

生徒：初めてのライフ体験で不安のほうが大きかった。中学生がきちんと行動してくれたおかげで上手くできたと思う。

委員：ライフ体験で素晴らしかったのは3点

①高校生・生徒会が自分たちでやったこと

②中学生の躰がとても良かった。

③先輩の話が聞いて良かった。

これらは先生の説明ではできないこと。中学生はみな真剣だった。参観させてもらってよかった。是非来年も広げて実施してほしい。

生徒：高校生と中学生が部活動で交流するのはどうか。

委員：良いアイデアです。先ほどの委員だけの会議でも提案がありました。

委員：小学校に吹奏楽部に来ていただいて演奏会を続けている。地元の先輩に来ていただいて、小学生は勿論、地域の方もすごく喜んでおられ、参観者が増えている。今後も続けたい。

### ○学習について

生徒：執行部・運動部の兼部で、探究ゼミがあった時期は課題をやるのが精一杯。時間の確保が重要。

生徒：2年生になってから、通学で早起きするからには得をしようと思い、列車で勉強するようになった。すると同じ列車で通う仲間も徐々に勉強をし始めて、相乗効果で列車が勉強するような雰囲気になっている。列車での勉強はたった30分ではあるが自分にとっては大きな時間だ。

生徒：バスで一人で気楽に勉強している。1年生の時は受験などもあまり考えてなく、勉強より部活だった。1年生の家庭学習時間が少ないのは部活に熱心になったり、勉強の仕方がわからない事もある。例えば、国語の勉強方法は難しい。2年になると受験のLHRもあり、勉強もするが、「勉強せずに点数を取るのがかっこいい」みたいなのところもあり、勉強している姿を見せたくないから勉強しないという雰囲気もある。

生徒：来年探究コースを志望する人がクラスに30名くらいいて、小テストの日は朝から休憩時

間もずっと勉強しているのがほとんど。外部模試の前も皆勉強している。家で勉強してきたから大丈夫と思っている人もいると思うが、その雰囲気触発されて勉強せざるを得ない感じで、自分は助かっている。進路の LHR が多く、卒業生の言葉を読むと3年生になると「勉強せずに点数を取るのがかっこいい」ではない、とわかって焦る。こんな LHR がたくさんあると参考になる。

生徒：文科系の進路に進むつもり。今数学も英語も課題がある。個人の意見としては進路にあった課題で英語や国語がいいのでは？と感じる。

学校代表：2年生のうちには教科を絞らず教養を身に付け、関心のあるなしに関わらず、どんなものかを知ってほしい。

生徒：人によって苦手な分野が違う。個に応じた指示や選択があると、やる気も出るのかなあとと思う。

生徒：1年生では最上位対象の補習があり、自分は国語の補習に出ることとなり入試向けの問題などに取り組めた。数学と英語は国語に比べて苦手だが、学校の補習にはちょっと苦手な人を対象とする補習が無くて残念。そんなクラスを開講してほしい。

生徒：英語のクラスは習熟度別にクラスが分けられることもあり、励みになっている。ほかの教科でもできないか？2年生になるとコースが分かれて時間割が異なるので難しいかも。

学校代表：来年度は「平日自習質問教室」を開講し、放課後に先輩 OBOG（大学生）へ自由に質問できる企画を予定しています。

## ○生活について

生徒：執行部の挨拶運動がなかなかできていません。校内の挨拶の状況に少なからず影響しているのかなと思う。

生徒：挨拶運動で、部活で鍛えられている人はすぐに挨拶を返してくれます。挨拶しても何も返してもらえないと、正直辛い。どうしたらいいですか？

委員：挨拶は、返してもらえなくてもし続けることが大事。自分から挨拶することに意味があるので、返ってこなくても挨拶しよう。

委員：挨拶が返ってこなくて「辛い」マイナスな出来事の方が、「次どうしよう」と成長の糧になります。皆さんの言葉を聞いていて、皆さんしっかり自立していると思います。マイナスだからと言ってふさぎ込まないで、皆さん4人で協力していろんなことにトライしてほしい。

学校代表：スマホで困ってることは無いかな。

生徒：2年になってから、スマホの時間が無いです。

委員：返事がないと仲間外れになることは？

生徒：私の周りでは聞いたことがありません。

委員：スマホと学習時間は反比例する。さきほど聞いた相乗効果で勉強できる雰囲気を探究コースだけでなく学校全体に広がってほしい。

委員：智頭方面からの列車ではスマホよりノートを開いている様子。

生徒：鳥取からの列車は違う。小テストの日以外は7、8割スマホだと思う。

生徒：列車に座れるかどうかがスマホとノートの違いになるかも。

## ○委員より

- ・列車の30分勉強も、家庭学習時間調査に入れてほしい。また、朝早く来た時間の朝練や勉強の積み重ねこそが大事だと思うので頑張してほしい。
- ・生徒会の「きくぞうBOX」は難しさがあるので、活用を良く考えてほしい。
- ・自分の思いを自分の言葉で語っているのが素晴らしいと感じます。委員だけの会議では若者が「語れない」事を心配していましたが、皆さんは違います。学校の根幹にかかわるような意見を出されたり、意見を聞いて下さる学校でもあり、こんな風がいい学校がつけられるのだと感じます。頑張ってください。
- ・中学生に八頭高校の素晴らしさを届けてほしい。八頭高校の良さや取組を、大きい字で、読みやすく、絵や写真がある新聞などでお願いしたい。情報が無いと中学生も八頭高校に興味を持ってないし、中学校の先生でも八頭高のことを知らない方が多いです。執行部は忙しいですが、カラー刷りで簡単な情報などがあると助かります。よろしくお願いします。
- ・高校生は自立期でとても重要です。今後の人生を大きく左右する時期です。頑張ってください。
- ・自分をいかに管理するか、与えられた時間をいかに管理するかが重要です。ちょっと忙しいくらいの方が、時間を大切にできます。時間が少ない人の方が集中もできます。勉強も頑張ってください。
- ・郡家駅にある兎の石像は、当時全町より応募された作品から八頭高2年生の絵が採用されてつくられたものです。八頭高校は地域貢献していることを知ってほしいです。
- ・大学生の半数が将来を決めかねている。中学生は人生の分岐点です。高校では、進学する学校だけでなく「将来はこれをやる！」と決めて頑張ると成功します。是非高校生の時に将来を考えて頑張ってください。